

JRほすびたる

第192号(2017年5月1日号)

発行責任者 事務部長
編集/発行 JR仙台病院
地域医療連携室
TEL 022-266-9671

理念

高度で良質な医療と心のこもった患者サービスで地域社会に貢献し、調和のとれた企業立病院をめざします。

院是
調和

～基本方針～

1. 高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化して企業立病院として社会貢献します。
2. プライバシーの尊重と最善のアメニティに配慮し、安心と満足が得られる快適な療養環境を整備します。
3. 全スタッフが一丸となって心のこもった患者サービスを提供します。
4. 日々研鑽に努め、責任を持って仕事に携わる質の高い医療人を育成します。
5. 医療環境の変化に対応できる健全な医療経営に努めます。

当院は医療機能評価の認定を受けています



「気づくことが診断や治療のきっかけ……内分泌疾患」



内科
佐野副院長

ヒトの内分泌器官には視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎や性腺などがあり、代謝や体液恒常性の維持、成長や生殖などに不可欠なホルモンを合成分泌しています。

内分泌疾患では、腫瘍や炎症、自己免疫異常などによりこれら内分泌器官が障害され、ホルモンの合成や分泌に異常が生じ、結果としてホルモンの過不足により全身に様々な症状がひきおこされます。

例えば下垂体腫瘍により、成人で下垂体前葉の成長ホルモンの分泌過剰が生じると手足が大きくなる先端巨大症となり、プロラクチンの分泌過剰がおきれば無月経や乳汁漏出を生じます。下垂体後葉の抗利尿ホルモンの分泌が障害されると大量の尿が出てしまい、大量の水を飲まないと体液の維持が追いつかない尿崩症をもたらします。

汗かきで動悸や手の震えがあり疲れやすく、食欲があるのに体重が減少してしまうバセドウ病は甲状腺ホルモンの過剰により生じます。一方、甲状腺ホルモンが不足する甲状腺機能低下症では、寒がりや皮膚が乾いてむくみ脱毛が増え、進行すると認知症やうつ病に似た精神症状を示すことがあります。

副腎皮質ホルモンであるコルチゾールやアルドステロンの過剰分泌によるクッシング症候群や原発性アルドステロン症は、若い頃からの高血圧や糖尿病、治療抵抗性で血管合併症をおこしやすい高血圧症の原因となっていることがあります。

血清カルシウムやリンの異常をもたらす副甲状腺疾患では、骨や筋肉の症状とともに情緒不安定や記憶力低下などの中枢神経症状も生じます。

内分泌疾患は症状が曖昧で緩徐に進行するためなかなか気づかれないことがあり、また、ただの体質として放置されていることもあります。気づいてホルモン検査を受け適切な治療が行われれば、多くの症状は見違えるほどよくなります。当てはまるような症状があれば、どうぞ当内科へご相談ください。

当院は、日本内分泌学会認定教育施設の指定を受けています。



JR仙台病院 ホームページアドレス <http://jrsendai-hospital.jp/>

4月新任医療スタッフの紹介



麻酔科 医師： 星 邦彦（ほし くにひこ）
 出身地：福島県 趣味：特技 読書
 紹介：長年医療安全を勉強してきましたので、安全な麻酔を行います。
 宜しくお願いします。



整形外科 医師： 鈴木 一瑛（すずき かずあき）
 出身地：新潟県 趣味：特技 野球、ゴルフ
 紹介：運動器に関する症状が少しでも軽くなりますよう努めさせていただきます。
 宜しくお願いします。



臨床検査科 副主任医療技師： 高橋 文隆（たかはし ふみたか）
 出身地：神奈川県 趣味：特技 バasketボール
 紹介：JR東日本健康推進センターから異動してきました。以前の職場では健康管理業務を担当し信頼される医療を心掛けてきました。JR仙台病院でもまごころをこめた信頼される医療を提供できるように努力していきます。



放射線科 医療技師： 平山 喬矢（ひらやま たかや）
 出身地：大分県 趣味：特技 映画鑑賞
 紹介：4月1日より放射線科に配属となりました。地域の皆さまが、安心して受診できる検査を心掛けて頑張ります。宜しくお願い致します。

医療の豆知識 『 医療用医薬品と一般用医薬品 』



医薬品は大きく医療用医薬品と一般用医薬品に分類されます。

医療用医薬品とは、病院や診療所などで医師が患者様の病状を診断し、使用する効果の高い薬です。そのため、医療用医薬品は医師の処方せんがないと使用することができません。効果が高い反面、副作用が現れることもあるため、用法・用量、使用方法など特に注意して使う必要があります。



一方、一般用医薬品とは、薬局やドラッグストアで自分で選び、だれでも買うことができる薬で「OTC 医薬品」などと呼ばれています。OTCとは、Over The Counter の略で薬局やドラッグストアのカウンター越しに買える薬という意味です。一般用医薬品は、一般の人が個々の判断で使用することができるため、医療用医薬品と同等な効果を有する一部のものを除き安全性を考慮し効果は控えめになっています。そのため、軽い頭痛や下痢などといった病気の初期の段階での一般用医薬品の使用は適していますが、症状が改善しない場合には早めの受診が必要です。

【 薬剤部 薬剤師 乾 洋恵 】

JR仙台病院 小児科 第14回Jフレンズ交流会の報告

4月1日当院研修室にて1型糖尿病のお子さんご家族の交流会を開催いたしました。当院小児科の西井医師から自己紹介の説明があり、参加したお子さまが可愛らしく挨拶をしていました。また1型糖尿病の先輩による経験の講演。ランチタイムをはさみ、武田管理栄養士による食事のバランス等の講演や後半ゲームなどで楽しく遊び、参加者、スタッフ約60名は有意義な3時間を過ごしました。

